

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2001-34272(P2001-34272A)

【公開日】平成13年2月9日(2001.2.9)

【出願番号】特願平11-234466

【国際特許分類】

G 10 K	11/178	(2006.01)
B 60 L	5/24	(2006.01)
B 60 R	13/08	(2006.01)
E 04 B	1/86	(2006.01)
F 01 N	1/02	(2006.01)
F 16 L	55/04	(2006.01)
G 10 K	11/28	(2006.01)
H 04 R	1/02	(2006.01)
E 01 F	8/00	(2006.01)

【F I】

G 10 K	11/16	H
B 60 L	5/24	Z
B 60 R	13/08	
E 04 B	1/86	H
F 01 N	1/02	E
F 16 L	55/04	
G 10 K	11/28	Z
H 04 R	1/02	1 0 1 E
E 01 F	8/00	

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月12日(2006.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】焦点を有する音波反射板と、該音波反射板の焦点に集束された音のエネルギーの消耗を促進する音波干渉器と、前記音波反射板の焦点に集束された音を前記音波干渉器内に導入する音波導入口とを具備し、前記音波導入口を狭い導入口とすることによって、前記音波干渉器内に導入された音が逆戻りして容易に外へ出られないようにしたことを特徴とする消音装置。

【請求項2】上記音波干渉器を構成する壁面の対向する面を平行とならない変則的な反射面とし、音波干渉器内には多孔質材料を配したことを特徴とする請求項1記載の消音装置。